



子どもの胃腸かせ

市立病院部長（小児科）

いし がみ つよし
石上毅

突然の嘔吐おうとにびっくり

毎年の終わりに冬になると、嘔吐や下痢を起す胃腸かせが流行します。

突然の嘔吐で始まり、下痢、腹痛、発熱を伴ってきます。痛いのはおへその辺りで、排便すると痛みは和らぎます。非常にうつりやすい病気で、家族内で感染したり、保育園、幼稚園、学校などで大流行したりすることがあります。原因の多くはウイルスで、抗生物質の効果はあまり期待できません。春先になると、「ロタウイルス」というウイルスによる胃腸かせが流行しますが、このかせは便の色が白っぽくなるのが特徴で、症状が重くなりやすく注意が必要です。

家庭びびるのじや

軽い場合、嘔吐は半日以内で治まることが多く、水分を少量ずつ回数を分けて、たびたび与えていると快方に向かつてき

ます。水分は、お茶や白湯よりも、塩分や糖分を適度に含んだものがよいでしょう。水分を吐かないようなら食事も可能ですが、下痢のあるうちは脂っこいもの、冷たいものは避けてください。食欲がないうちは無理に食べさせようとせず、水分をじゅっぶん与えるようにしてください。病気が治れば、自然に食べるよつになるものです。また、おしりがぶれを予防するため、おしりをこまめに洗ってあげましょう。吐いたものや下痢便から感染するので、じゅっぶんな手洗いをしてください。

医療機関にかかることが必要な場合

嘔吐、下痢がひどい場合は、脱水症状に注意が必要です。脱水症状を起すと、顔色が悪くなり、泣き声も弱々しくなり、ぐったりしてあまり動かなくなり、目が落ちくぼんできます。尿の量も極端に減ってきます。このような場合には点滴が必要で、急いで医療機関にからなければいけません。また、胃腸かせのように見えて、実は虫垂炎ちゅうすいえん（もうちょう）や腸重積ちゅうじゅうせきなどの急を要する重い病気のときがまれにあります。腹痛が強い（特に右下腹部の痛み）、ぐったりして元気がない、便に血が混じるなどの場合も、急いで医療機関にかかってください。

今回のテーマは

「花粉症について」